

応援プラン1

外国人職員のためのいこいの村職員住宅の改修



応援プラン2

2026年度 法人が実施する事業を応援



2026年4月より、
新しい応援システムがスタート!
パソコンやスマホから、
応援できます。



応援方法が分からない、
現金申込をご希望の方は
各聴言センター受付まで!

より多くの皆さまが参加しやすい後援会へ 生まれ変わります!

京都から全国へ
賛同者の輪を拡げよう

2026年3月15日(日) 法人後援会臨時総会が開催され、今後の後援会の継続と発展をめざし「後援会事業の見直しとそれに伴う会則変更」が決議されました。

2026年度からは、スマホやパソコンから専用のページにアクセスし、応援したいプランを選択、金額も任意で設定できるシステムを導入しました。より幅広い府市民、全国へ賛同者の輪が広がるよう活動を展開していきます。



詳細は「後援会
ホームページ」
をご覧ください

INDEX

- P2 2026年度の事業計画～3つの視点 (法人事業本部)
- P3 2026年度の事業計画～中期的に取り組むプロジェクト (法人事業本部)
- P4 事業所だより (いこいの村、京都市)
- P5 事業所だより(京都府)、後援会だより
- P6 「コラム」、「法人後援会状況」、「お知らせ」
別刷 新規採用職員紹介、意思疎通支援者紹介、
2026年度組織図

2026年度の事業計画

「3つの視点」を大切に実践

1 暮らしの要求に見合った事業展開

格差拡大や物価高騰の中で、聴覚言語障害者や家族の困りごとは複雑化しています。事業を通じて見えてくる「ねがい」をつかみ、市民的な共同を広げながら事業を進めます。新しいレインボープラン改訂に向け、現状の丁寧な評価と職員間の議論を重ねます。



若木寮の暮らしを考える集会

2 職員の働きがいを大切に

多様な働き方や経験に沿った支援の工夫が求められます。職場ごとの対話を深め、職員の「ねがい」と法人理念の共通点を見つめることが重要です。管理職を支える体制づくりや、外国人採用を含む人材確保にも取り組みます。



実践交流集会での対話

3 健全な財政運営

予算管理で安定化を進めつつ、各職場の創意工夫を生かす自主運営も強化します。人件費率の状況をふまえ、現場実践との両立を図りながら持続可能な財政運営をめざします。

当法人2026年度の事業計画を策定しました。本誌では計画の重点についてお伝えします。



中期的に取り組むプロジェクト

右記の「視点」を軸とし、2026年度は、法人全体を横断する4つの中期プロジェクトを重点化します。



1

食事提供の見直しによる生活支援の質の向上

梅の木寮ユニットごとの食事提供を段階的に進めます。また、いこいの村だけでなく、安定的な食事提供のあり方を法人全体で追求します。



2

就労支援事業の再構築と3つのB型事業所の連携強化

第2あおぞら就労支援事業所の再開に向け、事業内容を見直します。ひいては、法人内の就労支援事業の機能や事業内容の見直しを図ります。



3

障害者差別解消法や手話施策推進法に基づく新たな情報保障体制づくり

手話言語への社会的理解が広がる一方、安定的に事業を実施運営するための仕組みづくりが求められています。意思疎通支援者派遣の効率化や若手の手話通訳者の育成などの基盤づくりを進めます。



4

拠点の3センターの財務管理の一元化



その他、職員の研修体制を強化し、経験や役割に応じた学びを提供する「職員研修センター（仮称）」の準備を進めます。外国人職員の採用開始や職員寮の整備など、人材確保にも力を入れ、働きがいのある職場づくりを進めます。

これら事業の進捗や現場実践については、本誌面を通じてお伝えしていきます。

いこいの村新聞が 地域の皆様を笑顔に



やさしい献立

いこいの村新聞は、年4回発行し、東部地域は全戸配布、綾部市内は回覧板で回していただいています。いこいの村の様子に加え、『介護のワンポイント』、『今月の手話』など地域の読者の皆様の暮らしのヒントになる記事も載せています。その中で『やさしい献立』というコーナーがあり、不足しがちな栄養素が取れて簡単に調理できるメニューという内容を掲載しています。愛読者からは、「切り抜いて綴っています」という声を聴かせていただいております、9年続けています。

皆で実際に 作ってみよう

綾部東部デイサービスセンターで毎月第2・4土曜日に『すこやかシニア教室』を実施しています。介護保険の要支援または事業対象者の方を対象に「運動・栄養・口腔」



魚がおいしそうに焼けたわ

の学習をして、在宅生活を継続していただくことを目的としています。いこいの村新聞の発行に合わせて『やさしい献立』の調理にも取り組んでいます。

皆さんに事前に予告すると、当日は三角巾とエプロンを持参して参加し、主婦の力を発揮して手際よく作られます。できあがった料理と一緒に食べるのと、「こうすると野菜もたくさんとれるね」「小松菜ってどんな栄養があるのかな」など会話

がはずみません。今回で3回目の調理実習。今までの感想を聞くと、「ひじきは煮物で食べるものだと思っていただけ、ここでサラダを作って食べて、これなら手軽に家でもできると知った」「みんなで作ってみて、意外に簡単にできて家で一人で作ることができた」

元気な暮らしを発信

いこいの村新聞は村の日常を伝えるだけにとどまらず、役立つ情報を発信し、地域住民の皆様が元気に過ごしていただくことを目指しています。その様な小さな貢献が今後のいこいの村にとって大切ではないかと考えます。

(総務部 小田愛)

空調設備が 新しくなりました

京都市聴覚言語障害センター（以下、京都市センター）の空調設備は、開所から29年が経過し、ここ数年はシーズンで何度も故障を繰り返して対応してきました。その間、京都市の建物であるため、京都市と空調改修工事の協議・設計・施工の間を2026年4月末に工事をすべて終わらせた。

京都市への働きかけにおいては、要望書等により工事の着工に向けてご協力いただきました関係団体の皆様にも御礼申し上げます。また、工事期間中には利用者・関係団体の皆様には生活・活動の場や部屋利用の休止等で大変ご不便をおかけいたしました。皆様のご理解とご協力で無事、快適な夏を迎えることができます。

(所長 山本絵美)



新しくなった屋上の空調機器

食物繊維が手軽にとれるメニュー

高齢の方にもおすすめの
やさしい献立

ヒジキとトマトの マヨサラダ

ヒジキは食物繊維が豊富な食材です。暑い夏にもさっぱり食べられるサラダです。ツナやかにかまなど入れてもおいしく食べられます。



材料 2〜3人分

乾燥芽ヒジキ	…10g	調味料	
トマト	…2個	・マヨネーズ	…大さじ3
きゅうり	…1/2本	・すりごま	…大さじ2
		・砂糖	…小さじ2



- ①ヒジキはたっぷりの水で戻す（やわらかいのが好きな方は軽くゆでる）②トマト・きゅうりは食べやすい大きさに切る。③ボールにしっかり水気を切ったヒジキ、トマトときゅうりを入れる④調味料と混ぜ合わせたら完成☆

いこいの村新聞掲載のレシピ

♪今日も元気に登校中♪
京都北部に広がる
通学支援事業

京都府北部地域では、京都府立聾学校舞鶴分校へ通う子どもたちの通学を支援する「通学支援事業」を各市町村が事業化し、当法人が受託運営しています。この事業は保護者の要望から2008年に福知山市で開始され、その後2016年に京丹後市、2022年に綾部市、2024年に与謝野町で事業が開始されました。

現在は、8名の子ども達が利用し、元気に通学しています。市町単費の事業であるため、利用料等の地域格差が課題となっています。保護者や関係団体の皆さまと共に、安心して教育を受けられる権利が守られるように取り組んでいきたいと思っております。（北部市町村支援部）

京丹後

現在、3名の児童が通学支援員と共に舞鶴分校まで約1時間半かけて、通学しています。安全、安心を第一に支援をし、児童も元気に楽しく通っています。

福知山

2025年4月から利用をされているAくん（4歳）のご家族よりメッセージをいただきました。

【お母さんより↓】

まだ小さな子ども（利用当初は3歳）の初めての電車通学で、親としては不安でしたが、支援員さんたちが皆さん優しく、そして子どもが安心して安全に通学できるよう様々な工夫をいただき、本当に感謝しております。

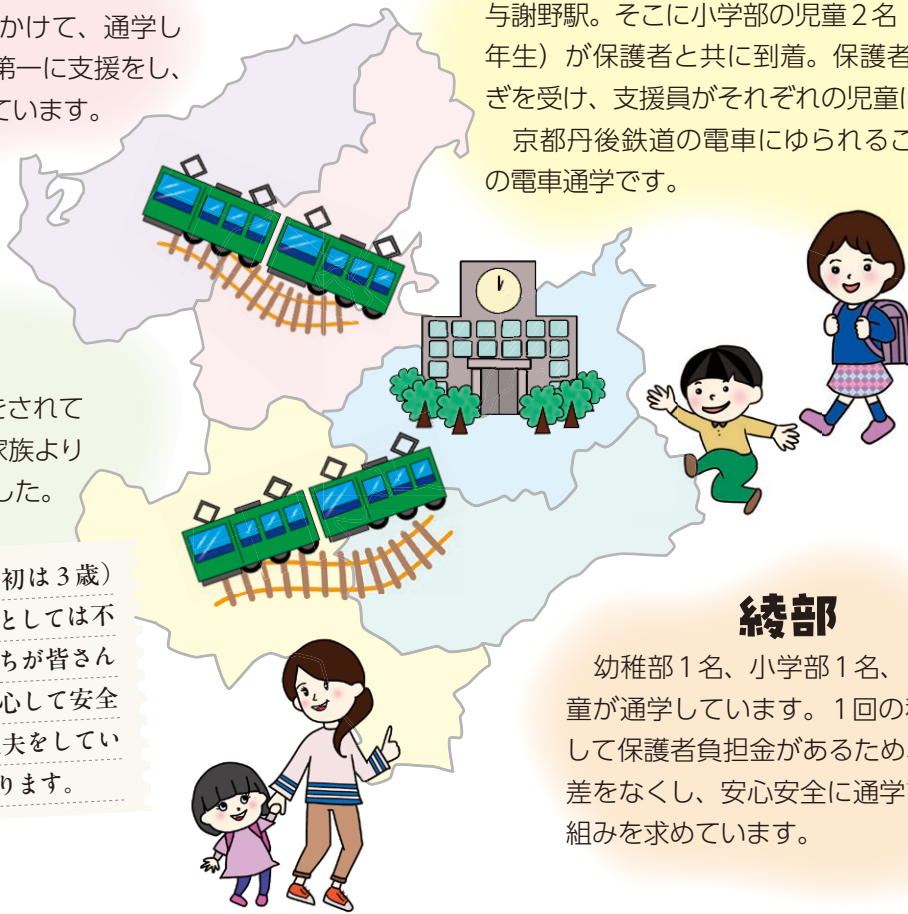
与謝

朝7時過ぎ、電車を待つ高校生がたくさんとの謝野駅。そこに小学部の児童2名（1年生と4年生）が保護者と共に到着。保護者からの引継ぎを受け、支援員がそれぞれの児童につきます。

京都丹後鉄道の電車にゆられること約1時間の電車通学です。

綾部

幼稚園1名、小学部1名、2名の児童が通学しています。1回の利用に対して保護者負担金があるため、地域格差をなくし、安心安全に通学できる仕組みを求めています。



後援会だより

法人後援会は1978年の発足以来、「聴覚言語障害者福祉の啓発と法人への財政援助」を目的に活動を続けてきました。しかし、近年「会費の使途がわかりにくい」「会費額が負担になってきた」等の会員からのご意見もあり、年々会員数が減少してきていること、また、後援会からの情報発信が不十分で、なかなか賛同者の輪が広がらない等の課題がありました。これらの課題を乗り越えられるよう、後援会事業のあり方を大きく見直すこととなりました。

2026年度4月より開始した新しいシステムは、パソコンやスマホから簡単にアクセスし、自由に応援内容の選択や金額を設定できます。ご登録のメールアドレスへ『聴言ニュースデジタル版』などの情報を配信いたします。なお、パソコンやスマホでのアクセスに支障がある方も、法人の各センター受付でもお申込みいただけます。新しくなった後援会活動に引き続きのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



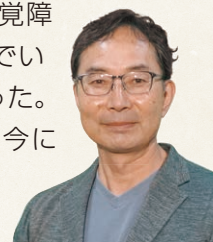
私の原点

2007年。大谷大学の教室、講堂に京都市内の聾者、難聴者、手話通訳者、要約筆記者の方々が集まり、京都市内の聴覚障害者の生活実態をつまびらかにするための調査に取り組むことになった。これが私と法人との出会いだった。仕事、子育て、医療、教育、福祉、そのすべてに必要な情報保障と集まる場と機会、支える専門職。そのいずれもが不十分であり不足していた。特にいくつかのハンディが重複している方々とその家族を取り巻く状況の厳しさには驚かされた。声を上げる、ないものは創る、特に自治体の責任を問い明らかにするための運動は不可欠であり、そのための組織の強化と裾野の拡大が求められていた。日本全体をリードする実践を積み重

ねていた京都でもこの状況。

では世界ではどうなっているのだろうかかと疑問に思い、紹介いただいた世界聾啞連盟があったフィンランドに視察に行くことにした。福祉先進国だけに確かに設備や制度、体制は進んでいた。とりわけ専門職の教育システムの素晴らしさには舌を巻いた。しかし、北部に広大に広がるラップランドをカバーすることは難しく、サービスを行き届かせること、広域での交流をどう進めるかについては苦慮されていた。フィンランドで多くの方と出会い話す中で、京都の方との共通点を感じるがあった。それは聴覚障害者の暮らしを今よりもっと豊かでいいものにしたいという熱い思いだった。この共通点が今の私の原点となり今に至っている。

理事長 志藤 修史



手話検定団体受験2025

2026年度は
14名が合格！



2026年2月19日(水) 2会場(京都府聴覚言語障害センター、いこいの村聴覚言語障害センター)で、法人職員を対象に実施。受験した法人職員は、一年間研修や自宅学習などに取り組みました。

今回は、受験者14名全員(1級4名、2級8名、3級2名)が合格しました！！

ご寄付 敬称略 ご寄付ありがとうございました。

2026年1月1日～3月31日

氏名	寄付金額	物品
林 芳枝	10,000円	
竹谷 靖子		布地、糸、帯じめ
夢窓幼稚園	20,000円	
阪田 勝則	100,000円	オムツ6袋
かぶとく歯科	100,000円	
長谷 雅子(若木寮 利用者のご家族)	1,000,000円	
TBV葉婦会	30,000円	

2026年度 法人後援会総会

とき 2026年6月28日(日)
11:00～12:00

ところ 京都市聴覚言語障害センター

聴言ニュースアンケート

聴言ニュース担当までお寄せください。

アンケート



法人後援会 会員の状況

(2026年1月～
2026年4月)

763名 新規ご加入 36名、 継続 727名(職員含む)

目標	京都市	北部	口丹	乙訓	山城	他府県	合計
会員数	221名	344名	28名	30名	65名	65名	763人
達成率	49%	98%	56%	60%	65%		59%



社会福祉法人

京都聴覚言語障害者福祉協会

法人事業本部 TEL(直通) (0774) 30-9003

京都府聴覚言語障害センター

TEL(0774) 30-9000(代) FAX(0774) 55-7708

京都市聴覚言語障害センター

TEL(075) 841-8336(代) FAX(075) 841-8311

いこいの村聴覚言語障害センター

TEL(0773) 46-0101(代) FAX(0773) 46-0610



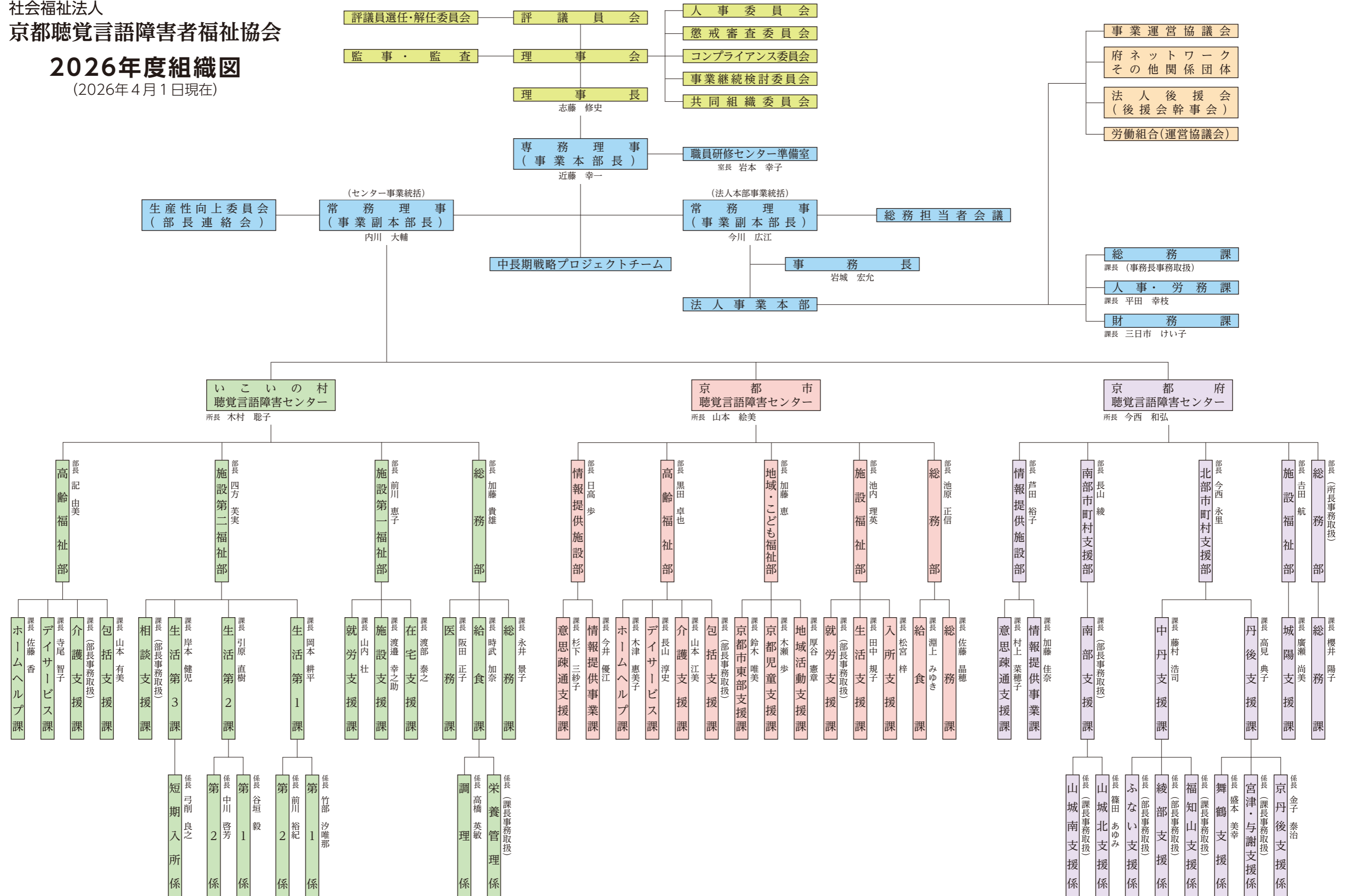
ホームページ

詳しくは各事業所、またはホームページで <https://www.kyoto-chogen.or.jp/>

社会福祉法人
京都聴覚言語障害者福祉協会

2026年度組織図

(2026年4月1日現在)



2026年度 新規採用職員

① 自分の性格は？ ② 抱負を一言で

京都府聴覚言語障害センター



たなか のりこ
田中 規子
施設福祉部 生活支援課
①基本的にはマイペースな自由人だと思えます。
②周りの方への感謝を忘れず、自分らしく前向きに頑張ります！

京都府聴覚言語障害センター



やました いさこ
山下 伊佐子
北部市町村支援部 中丹支援課
①いつもここにこ明るい性格をしています。
②地域のろう者さんに頼られるように頑張ります。

京都府聴覚言語障害センター



おかざき まさみ
岡崎 昌美
施設福祉部 入所支援課
①心配性。たくさん人の前で話をするのは苦手。
②なかがまが健やかに生活できるように援助していけたらと思っています。

京都府聴覚言語障害センター



ますだ ちあき
栲田 智晶
地域・こども福祉部 京都児童支援課
①真面目と言われますが、自分ではぬけていると思います。
②手話でのやり取りを、スムーズにできるよう沢山学びたいと思います。

京都府聴覚言語障害センター



たかお まゆみ
高尾 真由美
総務部 総務課
①明るく前向きに頑張るタイプです。
②日々感謝を忘れずに丁寧に頑張ります。

いこいの村聴覚言語障害センター



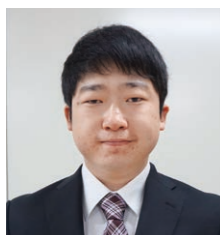
さかくち ちひろ
阪口 千尋
施設第二福祉部 生活第1課
①真面目に物事へ取り組む。
②仕事をしっかり覚え、生活者の方と楽しく安全に過ごせるよう支援していきたいです。

いこいの村聴覚言語障害センター



もとひさ ももな
元久 桃々菜
施設第二福祉部 生活第1課
①すぐ緊張しちゃうので温かく見守ってください。
②明るく楽しく前向きに頑張ります。手話の勉強もがんばります。

いこいの村聴覚言語障害センター



みやざき りょうじ
宮崎 凌介
施設第二福祉部 生活第1課
①明るくて積極的に話す性格です。
②早く仕事を覚えて戦力になれるように頑張ります！

いこいの村聴覚言語障害センター



いずみ らいき
泉 頼樹
施設第二福祉部 生活第2課
①マイペースなところですが。
②自分の仕事内容を理解して安定できるようにすること。

いこいの村聴覚言語障害センター



もり りょうこ
森 亮子
総務部 給食課
①普段はもの静かですが、いざという時の実行力があります。
②居心地のよい場を作りたいです。

法人事業本部



にしがみ あきら
西上 諒
法人事業本部 総務課
①人見知り。
②法人の一員として職務を全うします。

おめでとうございます！

お祝い申し上げますとともに、今後のご活躍を期待しております。

2025年度 手話通訳者全国統一試験

合格者

大西 みどり (おおにし みどり) 岡澤 恭世 (おかざわ やすよ)
柿本 菜奈 (かきもとなな) 伊藤 志保里 (いとう しほり)
霧嶋 ほのか (じゃじま ほのか)

2025年度 京都府・京都市 要約筆記者認定試験

合格者

中島 祐子 (なかじま ゆうこ) 平田 幸枝 (ひらた ゆきえ)
松井 文 (まつい あや) 仲村 紀代美 (なかむら きよみ)
笹原 道子 (ささはら みちこ) 川邊 聖幸 (かわべ さとり)
堀 恵 (ほり めぐみ) 山路 早織 (やまじ さおり)
田中 育代 (たなか いくよ) 谷 有希子 (たに あきこ)
坂口 紅葉 (さかくち もみじ) 尾崎 由佳里 (おざき ゆかり)
橋本 一美 (はしもと ひとみ) 岡田 有香 (おかだ ゆか)
神谷 真由美 (かみや まゆみ)

2025年度 京都府・京都市 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座

修了者

神原 祥子 (かんばん さちこ) 立木 亜美 (たちき あみ)
安宅 佳子 (あたか よしこ) 梶野 なつみ (かじの なつみ)
中村 知世 (なかむら ともよ) 富永 俊朗 (とみなが としろう)
篠田 翔子 (しのだ しょうこ)

※同意をいただいた方のみ掲載しています。

退職者一覧(退職 3月31日付)

◆京都府聴覚言語障害センター
情報提供施設第一部 竹内 郁海
相談支援部 民部 優子

北部市町村支援部 菅井 奈津子
北部市町村支援部 中村 茉央
◆京都府聴覚言語障害センター
介護福祉部 安岡 佳子

施設福祉部 舟木 務
施設福祉部 中谷 優佳
◆いこいの村聴覚言語障害センター
総務部 安部 香菜子